2027年3月期　第2四半期
連結決算の概要

2026年11月20日

株式会社今仙電機製作所

東証スタンダード・名証プレミア　証券コード：7266

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅰ．2027年3月期
第2四半期　連結決算概要

取締役執行役員　井上　達嗣

Ⅱ.事業概況

代表取締役社長執行役員　長谷川　健一

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅰ．2027年3月期
第2四半期　連結決算概要

取締役執行役員　井上　達嗣

Ⅱ.事業概況

代表取締役社長執行役員　長谷川　健一

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　第2四半期　連結業績　実績

▶ 前年同期比で売上高は増加、**営業利益および経常利益は大幅増、**
当期純利益は前期に一過性の利益があったため前年同期比では減少

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益※
43,402 百万円	**1,227** 百万円	**1,359** 百万円	**753** 百万円

※前年25/9期において一過性利益（テネシー工場売却益826百万円、投資有価証券売却益164百万円）
を計上したことにより、前年同期比で純利益は減少しております

2027年3月期　連結業績　見通し

▶ 通期の見通しについては、上期業績は好調も、外部環境のリスク等を踏まえ、
通期業績予想は **期初の予想を据え置き**といたします

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　第2四半期　連結決算概要

（単位：百万円）

	25/9期 実績	26/9期 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	42,562	**43,402**	840	2.0%
営業利益	486	**1,227**	740	**152.2%**
経常利益	396	**1,359**	963	**243.1%**
当期純利益	989	**753**	▲236	▲23.9%

※25/9期においては、一過性利益（テネシー工場売却益826百万円、投資有価証券売却益164百万円）を計上したことにより、当第２四半期の純利益は前年同期比で減少しております

為替

	25/9期 実績	26/9期 実績
USD	146.0円	159.5円
CNY	20.3円	23.5円
THB	4.5円	4.9円

営業利益、経常利益は前年同期を大きく上回る結果となりました

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　第2四半期　営業利益

単位：百万円

売上高： 42,562

+840

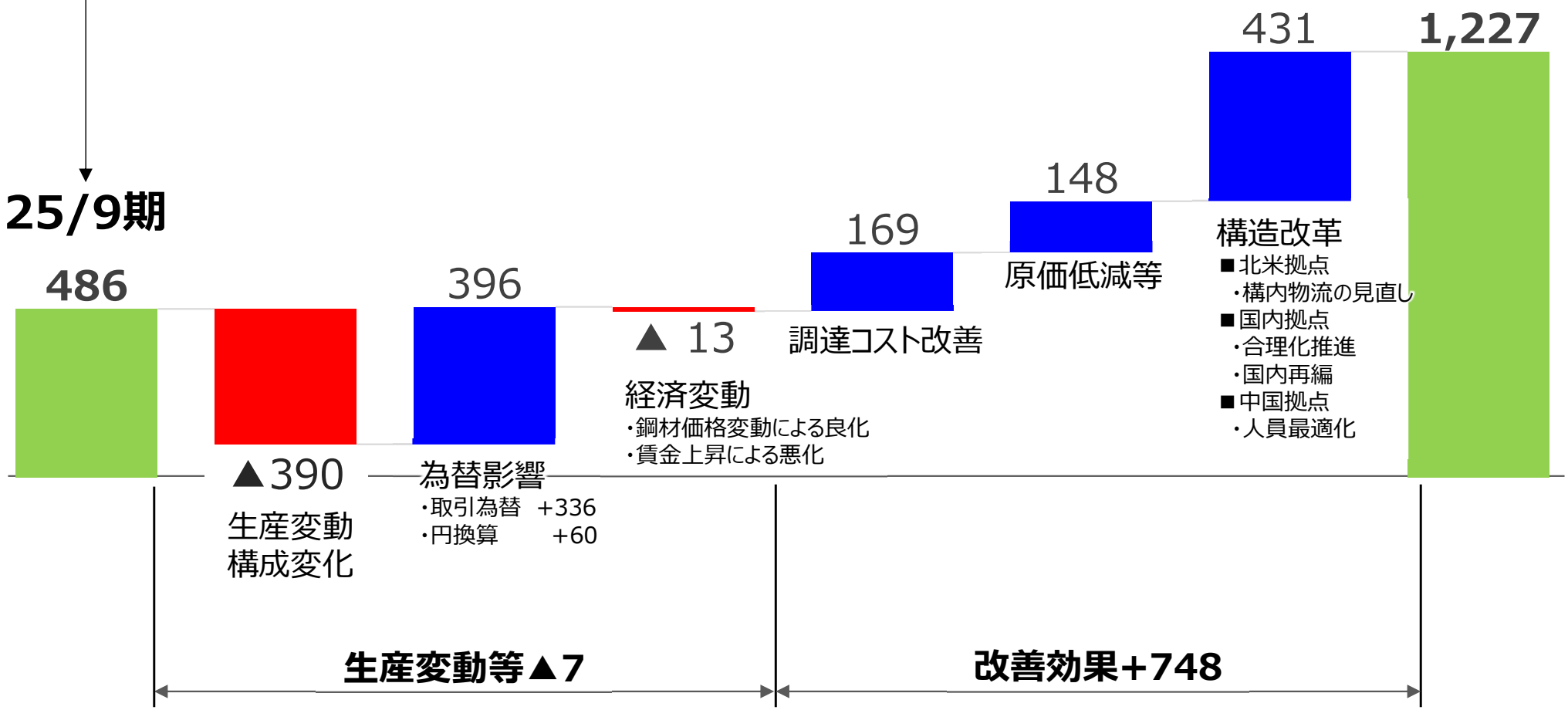
（為替影響　＋1,925 ）
（生産変動　▲1,085 ）

売上高： 43,402

+ 740

25/9期

26/9期



減産影響を受けたものの、為替影響に加えて「構造改革の効果」により大幅増益

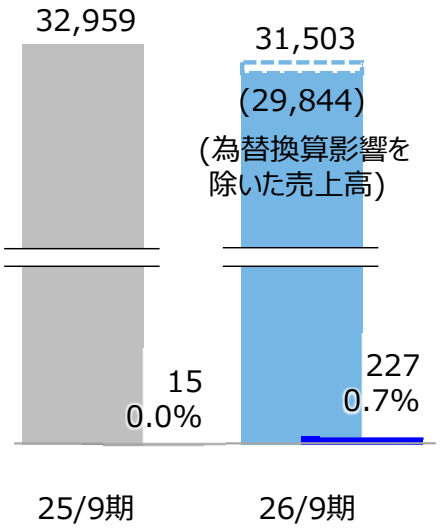
©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　第2四半期　事業セグメント別実績

【前年同期比】

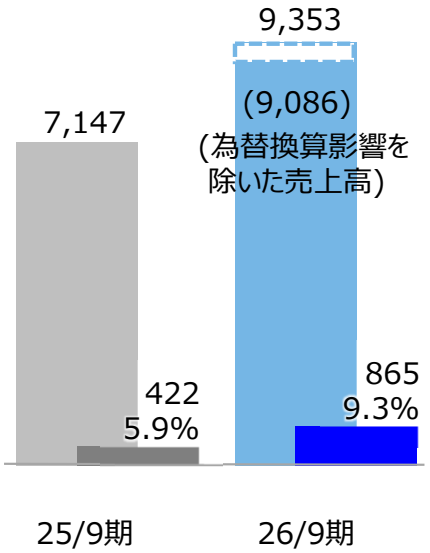
（単位：百万円）

シート・電装事業



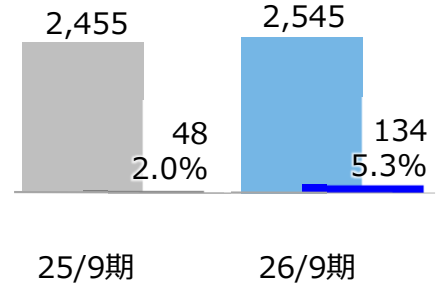
売上高	▲1,455(▲4.4%)
単体および中国での減産のほか、北米でのモデル末期機種の生産終了により減収となりました	
営業利益	+211（-）
北米拠点での構内物流の見直し、国内再編などの**構造改革**および国内外における調達コスト改善、合理化推進効果により**増益**となりました	

電子事業



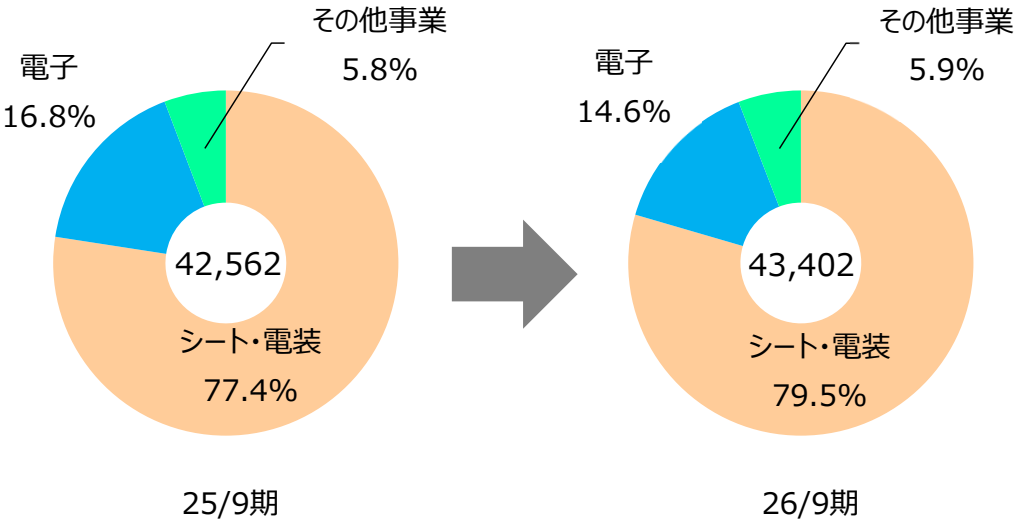
売上高	+2,205（+30.9%）
国内を中心とした受注増に加え、為替影響により**増収**となりました	
営業利益	+443（+105.0%）
単体での開発費負担があるものの、増収効果により**増益**となりました	

その他事業



売上高	+89（+3.7%）
カメラ事業での受注増加により増収となりました	
営業利益	+85（+177.4%）
増収影響および**原価低減活動**により**増益**となりました	

事業別　売上高構成



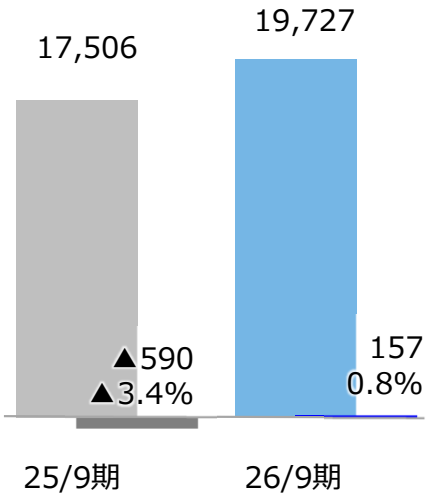
©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　第2四半期　地域セグメント別実績

【前年同期比】

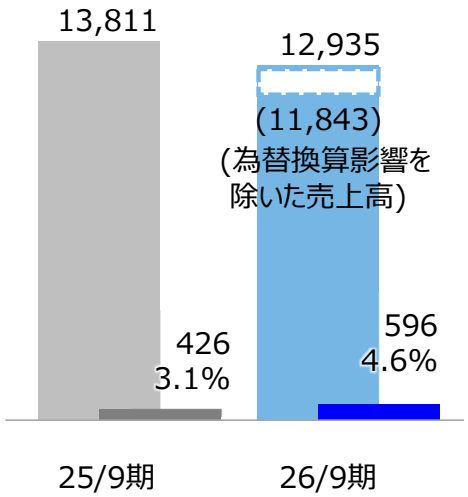
（単位：百万円）

日本



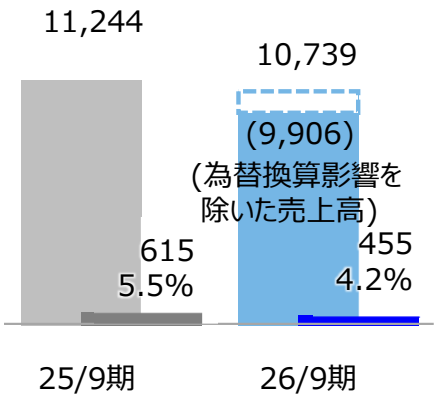
売上高	+2,221（+12.7%）
電子事業での受注増により増収となりました	
営業利益	+747（黒字化）
増収影響に加え、**国内再編による構造改革の効果**および調達コストなどの**改善活動、合理化推進**により、主に**単体損益が大幅に改善**し、黒字化となりました	

北米



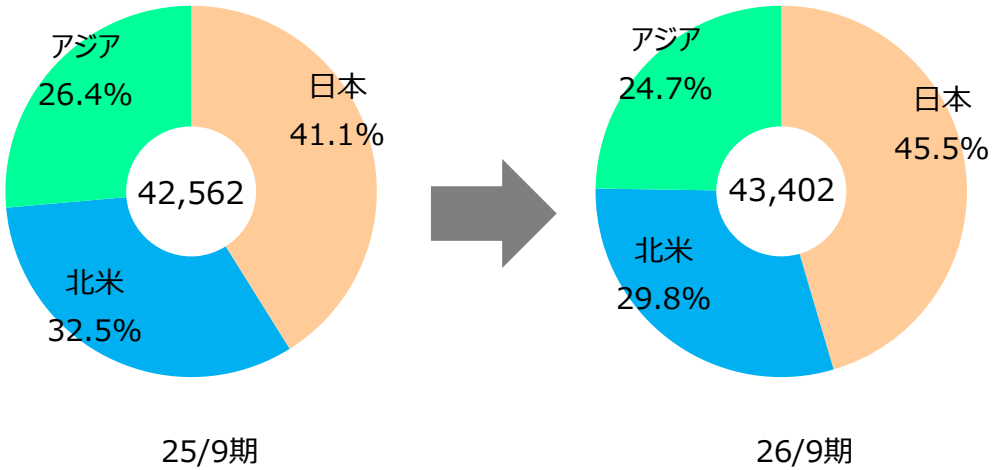
売上高	▲875（▲6.3%）
為替影響があるものの、モデル末期機種の生産終了により減収となりました	
営業利益	+169（+39.8%）
減収影響はあるものの、為替影響および**構内物流改善、構造改革の効果**により増益となりました	

アジア



売上高	▲505（▲4.5%）
インドでの生産増加や為替影響はあるものの、中国における生産減少により減収となりました	
営業利益	▲160（▲26.0%）
中国において**人員の最適化効果はあるものの**、減収影響により減益となりました	

地域別　売上高構成



©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　第2四半期　設備投資・減価償却費

（単位：百万円）

設備投資

	25/9期	26/9期	増減額
国内	770	**1,680**	909
北米	792	**361**	▲ 430
アジア	195	**249**	53
合計	1,758	**2,292**	533

減価償却費

	25/9期	26/6期	増減額
国内	762	**784**	21
北米	211	**206**	▲ 5
アジア	515	**481**	▲ 33
合計	1,488	**1,472**	▲ 16

＜主な投資内容＞

・**国内（前期比増加）**
【事業成長】
電子事業の新規車種立ち上げ対応、
「造りの進化」に向けた将来投資により増加
【業績回復】
国内再編および合理化への投資
【その他】
本社移転、基幹システム刷新に関わる投資

・**北米**
前期において新規車種立ち上げへ投資が集中したため、当四半期では減少

・**国内**
前期における国内再編および合理化投資により増加

・**アジア**
前期におけるタイでの投資抑制により減少

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

受注獲得状況

■第2四半期までの受注件数

客先への積極的な営業活動により、**受注を獲得**

	車種	製品数	備考
シート製品	4車種	9製品	現行モデルに続き次期モデル獲得：8製品 新規車種：1製品
電子製品	4車種	10製品	現行モデルに続き次期モデル獲得：10製品 新規車種：－ 製品

当社主力製品とその特徴

シートアジャスタ



✓ レール断面は世界最小レベル　軽量化、レイアウト自由度アップに貢献

統合ECU等



✓ 複数の車載機能制御を行う電子部品機能統合により省スペース化、低コスト化に貢献

シート製品、電子製品いずれも受注獲得状況は計画通り

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　連結業績予想　※2026年5月15日に開示しております

（単位：百万円）

	26/3期	27/3期 予想	増減額	増減率
売上高	87,149	**86,000**	▲1,149	▲1.3%
営業利益	2,037	**3,000**	962	47.2%
経常利益	2,122	**2,800**	677	32.0%
当期純利益	※ 2,480	**2,300**	▲180	▲7.3%

※26/3期ではテネシー工場売却益852百万円および投資有価証券売却益164百万円を計上しております

為替		26/3期	27/3期 (第3四半期以降の予想レート)
	USD	150.7円	150.0円
	CNY	21.2円	21.5円
	THB	4.7円	4.6円

各施策を着実に進め、さらなる体質強化へつなげる

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

政策保有株式の売却に伴う特別利益の計上

■特別利益の計上およびその内容　（2026年10月8日開示）

売却銘柄数	上場有価証券 2銘柄
売却益の発生予定	2026年10月～2027年3月
売却益（見込み）	1,200百万円

中国生産拠点の再編に伴う特別損失の計上

昨今の中国における自動車市場の大きな変化に対し、一層の効率化を図るべく、2拠点の生産機能を１拠点に集約し、生産能力の適正化を図ることを決定

■特別損失の計上およびその内容　（2026年10月8日開示）

損失の内容	再編で不要となる固定資産の処分 経済補償金等の再編費用
損失発生予定	2026年10月～2027年3月
特別損失（見込み）	1,200百万円

政策保有株式の縮減と中国の構造改革に伴い、特別損益を計上する見込み

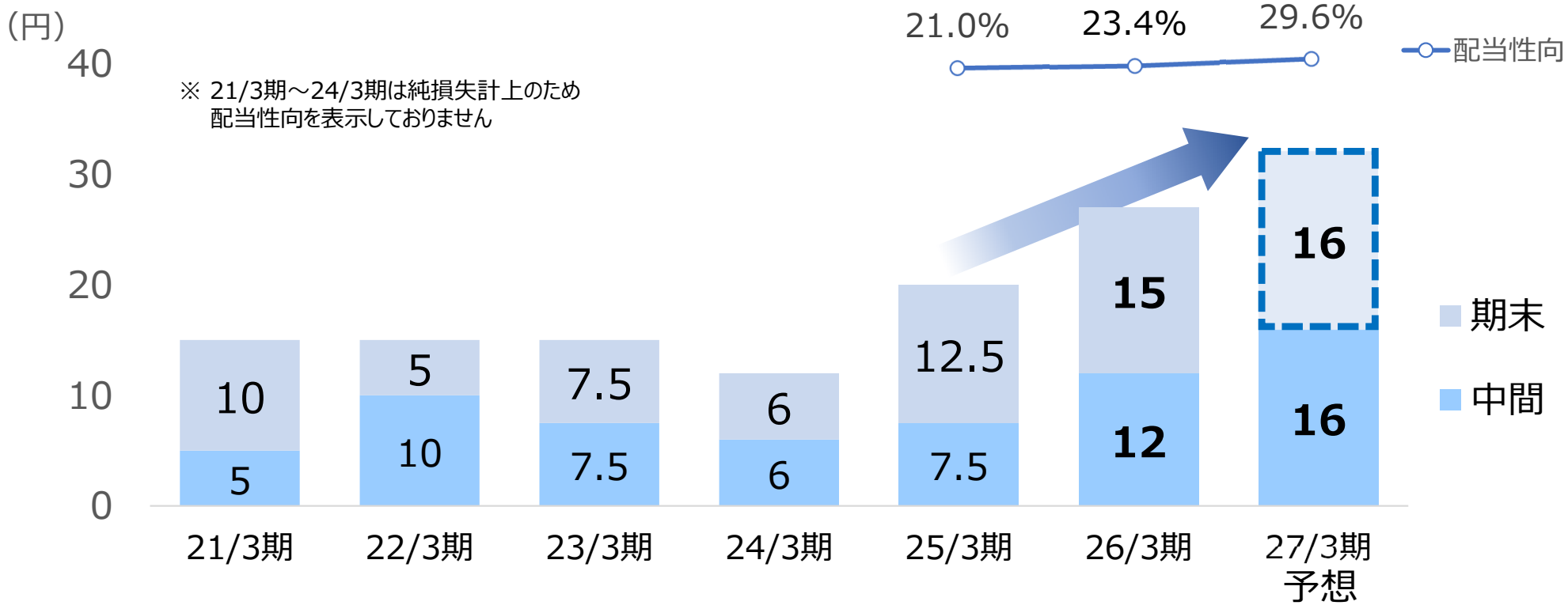
©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

2027年3月期　配当金予想

※2026年5月15日に開示しております

【配当方針】

- 業績回復に応じた**安定的増配**
- 配当性向 30%を目標とし、**年次の経営環境や業績により決定**



業績計画達成が見込まれる場合、さらなる上積みを検討

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

Ⅰ. 2027年3月期
第2四半期　連結決算概要

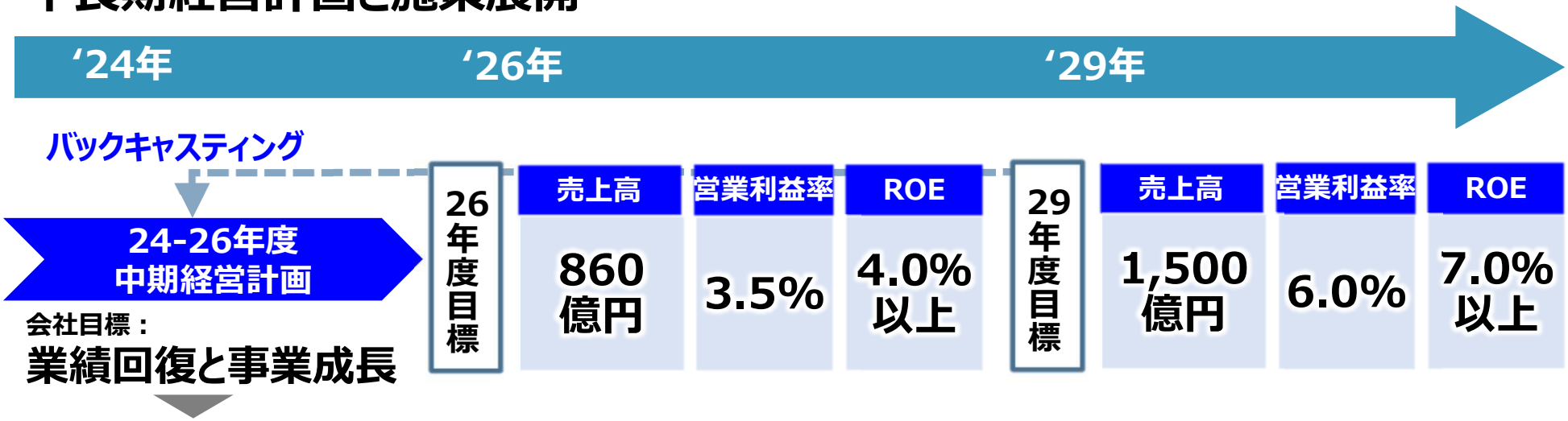
取締役執行役員　井上　達嗣

Ⅱ.事業概況

代表取締役社長執行役員　長谷川　健一

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

中長期経営計画と施策展開



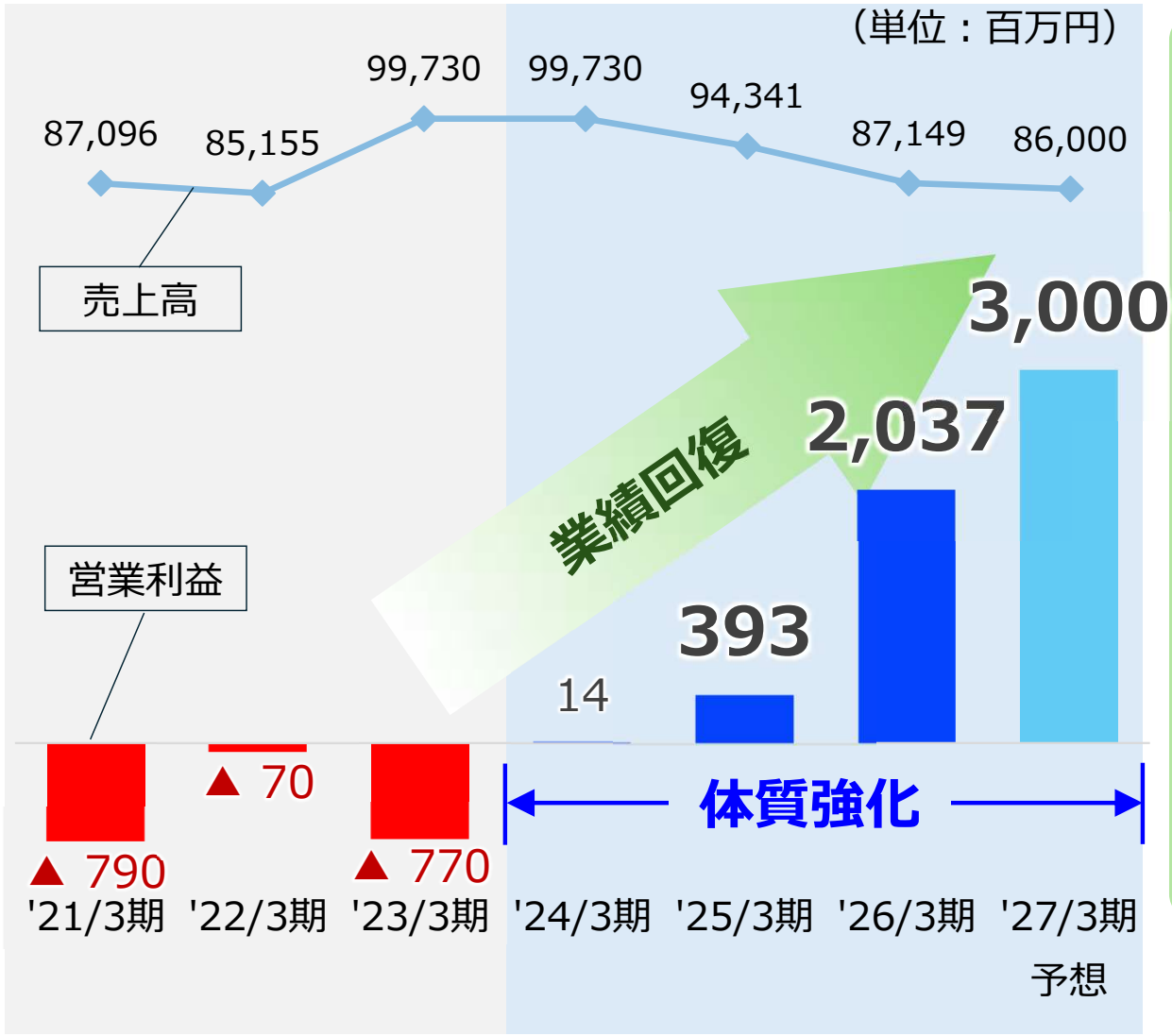
９つの重点施策

経営スピード	収益	①意思決定のスピードアップと権限移譲の促進
攻め	収益	②営業機能の強化
攻め	収益	③メガサプライヤーを超える競争力の強化
守り	収益	④北米・中国再編による収益強化
守り	収益	⑤調達構造の再構築による材料費率の改善
守り	収益	⑥稼ぐ力の再構築
守り	資本効率	⑦ROEと資本コストを意識した資本政策
シナジー	収益	⑧グループシナジーによる将来製品開発
事業基盤		⑨ESG経営の推進

各施策の進捗は計画どおり

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

業績回復の推移



➤地域に合わせた生産体制の
再編や合理化投資などの
各種施策を実行

業績回復の基盤確立



業績を回復させ、事業成長に向けた事業基盤を構築

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

中国市場の需要動向に合わせた体制整備

中国事業を取り巻く課題

- 中国市場における需要変化
- 現地サプライヤーとのコスト競争
- 人件費の上昇

事業性改善に向けた対応

人員最適化	継続中
自動化／省人化	継続中
生産拠点の集約	NEW

生産機能を広州工場に集約し、中国全体での体質強化

※2026年10月8日　開示

武漢工場



広州工場



設備インフラの整った広州工場へ
生産機能を集約

効果の見込み

- 稼働率の改善
- 固定費の抑制

武漢工場は顧客への納入機能に限定し**事業継続**
生産が回復した際に対応可能

変化する中国市場に対し、生産拠点の集約により中国事業の体質強化

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

国内拠点の最適化による体質強化

■国内工場再編

工場再編、生産集約による**各種費用低減**を推進中

工場	25年度	26年度	27年度	28年度	進捗状況/トピックス
名古屋 シート	第2工場スペース確保	26/2月～ 工場内生産エリアの集約、最適化			・工場内集約、岐阜工場移管**計画通り完了**
岐阜 シート	電装ライン受入れスペース確保	26/9月～ フレキシブル工場へ進化			・電装スペース**確保済み** ・電装ライン集約中
岡山 シート 電装		12月 岐阜工場へ移管	27/10月～ 電子製品受け入れ ⇒事業拡大		・岐阜工場移管 **計画通り進捗**
春里 電装	岐阜工場へ移管済み	9月	27/6月 工場閉鎖		・組立ライン**移管完了** ・外製化取組中
可児 電装		12月 岐阜工場へ移管	27/7月 工場閉鎖		・岐阜工場移管 **計画通り進捗** ・外製化の取組み推進中

国内工場再編は計画通り進捗、生産集約・合理化により体質強化

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

北米・国内での合理化推進

省人化　合理化

事業体質強化に向けて北米、国内の合理化投資を推進中



自動部品セット/払い出し
ロボット導入による省人化

- バラ積みされた部品をカメラで判別し自動ピッキング
- ピッキングした部品を加工機へ自動セット払い出し

北米で**14名**の省人化見込み



スライドレール組付け工程

自動化



熟練作業の廃止
習熟が必要な作業を自動化

各地域で引き続き合理化改善を推進中

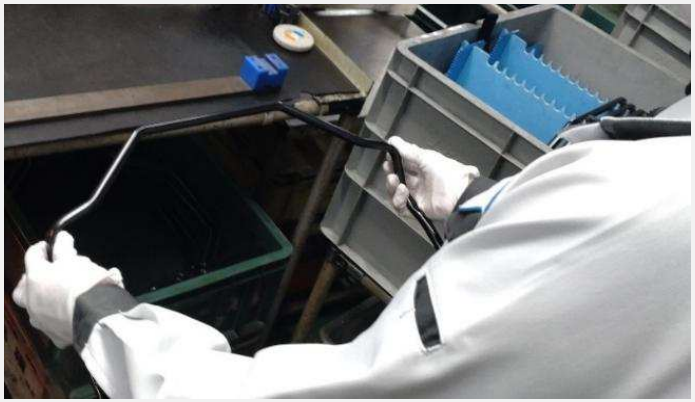
©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

岐阜工場でAI外観検査設備を内製化、検査の属人化を解消

目視検査からカメラ×AI判定へ移行し、**品質レベルの統一**と**工程の自動化**を実施

Before

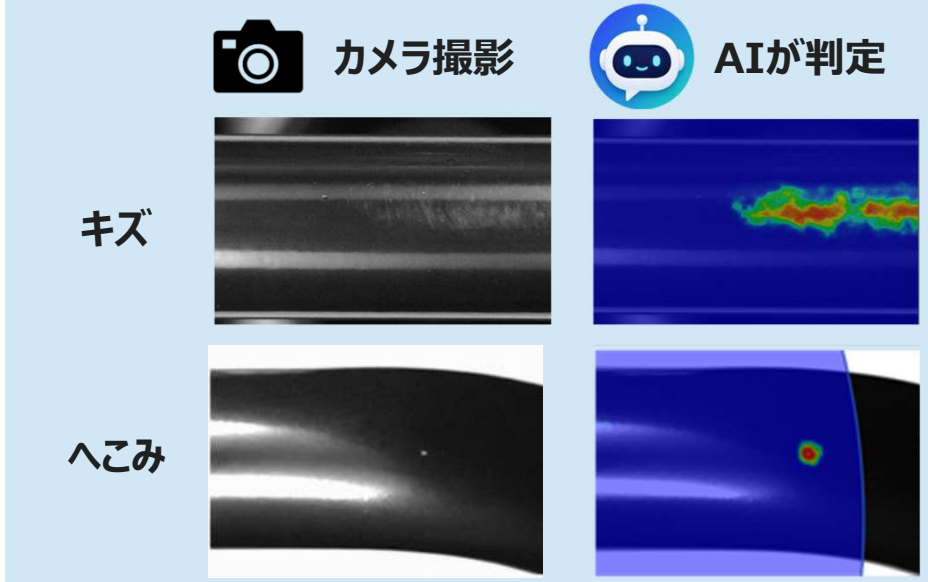
目視による確認



- **人の経験**に頼る検査
- 作業者の**体調に左右**される
- 品質が**不安定**

After

カメラとAIで確認



精度向上の工夫

AI学習 / 多角的判定 / 判定範囲の細分化

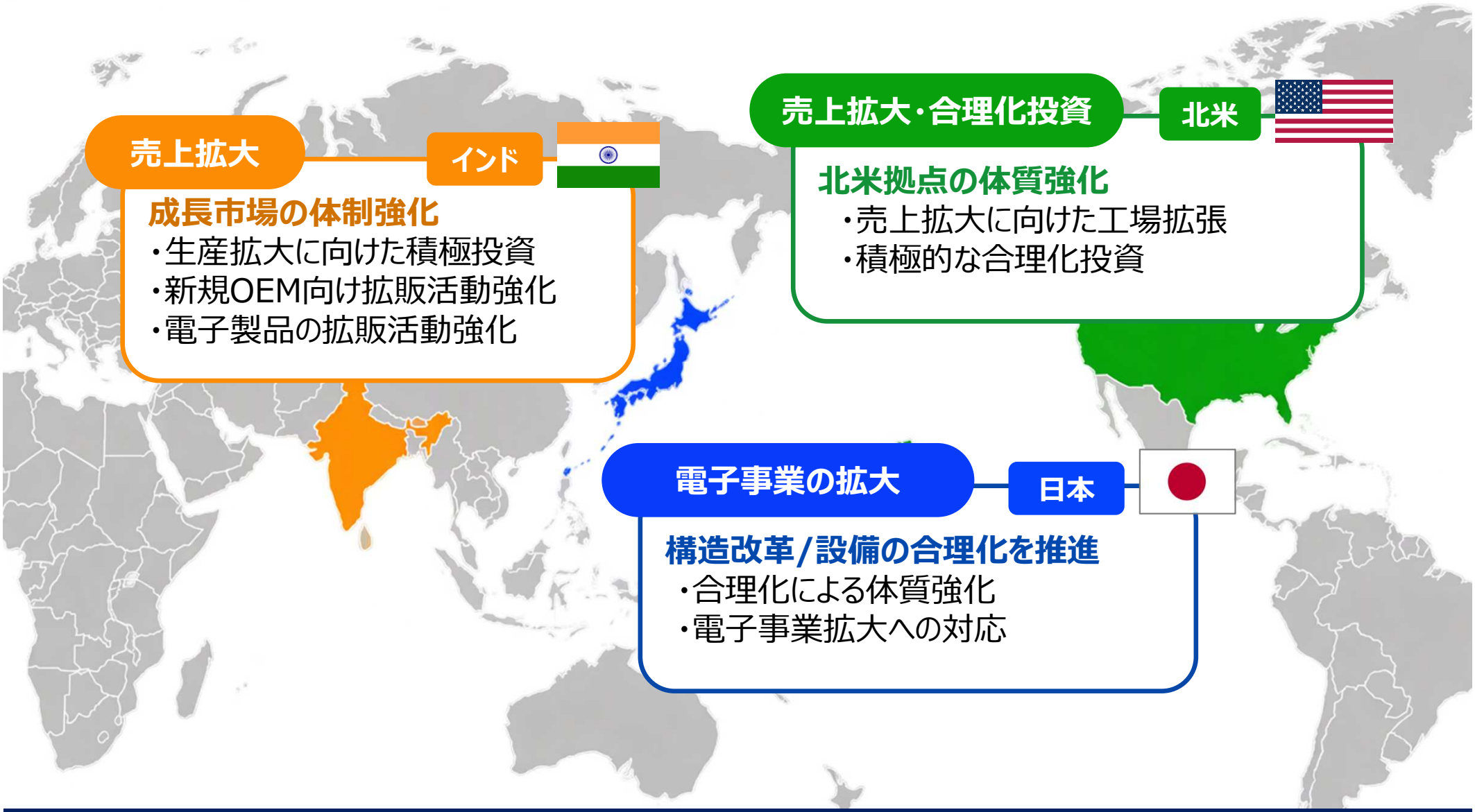
導入効果

属人化の解消 / 工程の自動化 / 品質レベルの統一

品質向上や合理化とともにAI活用のナレッジを蓄積し水平展開を検討

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

事業成長に向けた各地域での取り組み



売上拡大　インド

成長市場の体制強化
- 生産拡大に向けた積極投資
- 新規OEM向け拡販活動強化
- 電子製品の拡販活動強化

売上拡大・合理化投資　北米

北米拠点の体質強化
- 売上拡大に向けた工場拡張
- 積極的な合理化投資

電子事業の拡大　日本

構造改革/設備の合理化を推進
- 合理化による体質強化
- 電子事業拡大への対応

各地域の需要動向に合わせた施策を推進　確実な事業成長につなげる

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

成長事業への投資

■電子事業への成長投資

電子事業への設備導入・合理化投資を強化

今後の成長が見込まれる電子事業へ、
積極的な投資を推進中





・部品のピッキング
・セットから締付けまでを自動化

【設備投資の事例】 自動組付けロボットの導入（2026年10月～）

☑ 省人化

☑ 品質安定

☑ 生産性向上

積極的な設備投資を通じ、電子事業の成長を加速していく

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

北米拠点の売上拡大に向けた取り組み

積極投資により、**競争力向上と成長需要への対応を推進**

推進中

■ 工場への積極投資

生産能力向上

工場の拡張＆設備増強
塗装設備の導入
構内物流の改善

合理化推進
生産ラインの
自動化 / 省人化等

北米拠点の売上拡大と収益力向上

オハイオ工場



面積**約40%増**

現在推進中

構内物流の改善
塗装設備の導入(27年9月稼働予定)

今後の売上拡大を見据え、生産体制の増強を推進中

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

シナジープロジェクト　-次世代パーソナルモビリティの開発-

「人にやさしい 街にもやさしい」

をコンセプトとした新しいライフスタイルモビリティ



5つの特許出願中



6つのポイント

1. 折りたためる
2. 伸縮する
3. 大容量荷室
4. 安全・安心を支える機能
5. 軽量
6. 着脱式バッテリー

H.C.R.2026 国際福祉機器展で試作車両を公開

今仙グループの技術を活かし　社会のニーズに応える事業を創出

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

「資本コストや株価を意識した経営」のアップデート開示について

例年11月に開示している「資本コストや株価を意識した経営」は、新中期経営計画の策定とあわせて見直しを進めており、新中計とあわせて開示予定

キャッシュ創出力の強化
（事業成長/収益力向上による創出）

成長投資
- 設備投資
- 合理化投資
- 将来製品開発

資本効率向上
- ROE改善
- 資本構成の最適化

株主還元充実
- 配当強化
- 株主優待制度の充実
- 株主/投資家とのコミュニケーション充実

資本コストを上回る価値創出　**目標:ROE 7%以上**

資本効率の向上サイクル

成長戦略と資本政策を両輪に、次の成長ステージへ

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

IRカレンダー

※日程、場所については変更となる場合がございます

2026年

	11/13	27年3月期 第2四半期　決算発表
本日	11/20	27年3月期 第2四半期　決算説明会
	12/4-5	名証IRエキスポ出展　@名古屋 吹上ホール

2027年

	2/中旬	27年3月期 第3四半期　決算発表
	2/中旬	27年3月期 第3四半期　決算説明会

機関投資家向け説明会：各期毎の計4回の決算説明会の開催予定
個人投資家向け説明会：年2回の会社説明会を開催予定

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.

移動空間の
未来 を創る

・本資料の内容に関する一切の権利は株式会社今仙電機製作所に帰属しています。
　複写及び無断転載はご遠慮下さい。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手
　可能な情報に基づいた推測、見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。
・実際の業績は今後様々な要因によって、予測と異なる結果となる可能性があります。

○IRに関するお問い合わせ先
株式会社今仙電機製作所
経営企画部　企画課　IR担当
TEL 0568-67-1517
URL：https://www.imasen.co.jp/contact/

©IMASEN ELECTRIC INDUSTRIAL CO.,LTD. All rights reserved.